

# スコア映画サロンのお知らせ vol.284



◆日時：2024年4月28日(日) 14:00~18:00

◆会場：名古屋国鉄会館  
 (わからない方は10分前にスコアレに集合またはお問い合わせください)  
 ※映画サロンは禁酒禁煙です。

◆参加費：1000円(初参加の方は無料です)

## 課題映画

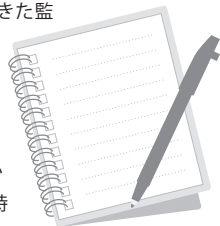
- ▷ オープンハイマー  
 (3/29よりミッドランドスクエアシネマほかにて公開)
- ▷ パスト ライブス 再会  
 (4/5よりミッドランドスクエアシネマほかにて公開)

## サロンメモ

映画は観る人の考え方や感じ方が評価を左右するが、経験値がそれ以上に影響を与えると痛感した今回だった。

「52ヘルツのクジラたち」はトランスジェンダーと児童虐待がテーマの両輪。当事者や当事者に友人や知人がいる場合はもちろん、それらを深く掘り下げたテレビ特集やドキュメンタリー映画に接した人と、一般的な記事や報道で差別や虐待はいかんと思っただけの人とでは、端的に言って感じ方の重みが違う。前者は映画の出来云々よりもテーマの重要性に気持ちを奪われ、後者はテーマにたどり着く前に映画の出来に気持ちを閉ざされる。映画は色々と観る人個々によって感想が異なるからこそ面白い。ただ私は後者の立場で、深刻で重要なテーマを(欲張って)2本も扱っているだけに、この映画の作りの酷さは残念と感じた。泣かせるために登場人物を都合のよい駒のように動かす。キャラクターは極端。メジャー作品を数多く撮ってきた監督はこんな風になってしまうのか。

とは言え、よかったという人が複数いたのはそれこそよかった。批判や文句の大合唱じゃサロンが不毛の場になる。もちろん絶讃の大合唱でも同様。かように日本映画を語る事は本当に楽しいのだが、今回は外国映画の2本。いやいや「落下の解剖学」も様々な解釈が引き出されて充実した時間だった。そこで語られる生々しい話も。(小西)



初めて参加される方は参加費無料！10分前にシネマスコアレまでお越しください。

3/24(日)	落下の解剖学	52ヘルツのクジラたち	ポーはおそれている	ARGYLE アーガイル	一月の声に 歓びを刻め	カラーパープル	身代わり忠臣蔵	ネクスト・ ゴール・ウィンス
サロン参加者								
高橋 広河	4	3	3	3			3	3
近藤 生久子	5	3						
岡村 昌俊	3	2	3		2	3		
田中 健一	4	2						
榊原 隆裕	3	4		3			4	5
三田 正継	5	3	4		4	4	3	4
井上 章		4	4	3	4	4		3
横井 清	5	3	3	3		4	2	3
山本 正明	5	3	2	3			3	3
斎藤 文彦	5	3		5		5	4	5
天野 雄喜	3	1	2	3	2	4		3
白石 麻由子	4	4		5	1			
小西 孝直 <small>(スコアレサロン代表)</small>	4	2	3		3			
坪井 篤史 <small>(スコアレ支配人)</small>	4	3	4	4	3			5
木全 純治 <small>(スコアレ代表)</small>	4				4		3	